

2024年1月22日

各位

株式会社イオレ

2024年のシニア SNS 事情はどうなる？ 60歳以上を対象にした「インターネットとSNSに関するアンケート」公開

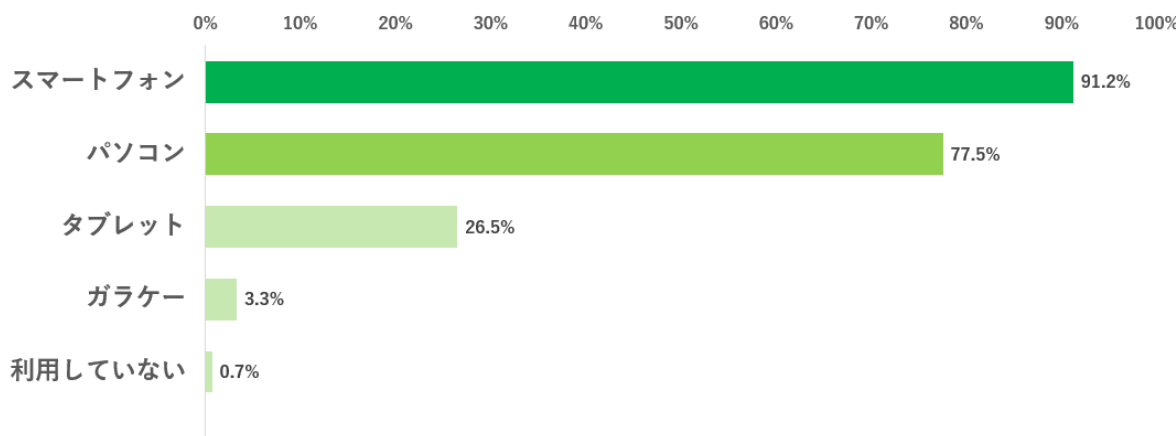
日本最大級の連絡網サービス「らくらく連絡網」を提供している株式会社イオレ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：冨塚 優、以下イオレ）は、「らくらく連絡網」をご利用の60歳以上のユーザーを対象に「インターネットとSNSに関するアンケート」に関するアンケートを実施いたしました。

調査結果

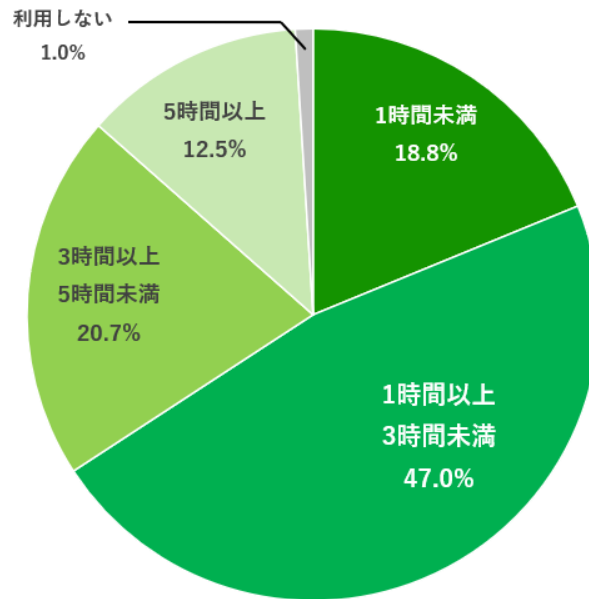
- 50代以上の約**9割**がスマートフォン、約**7割**がパソコンを利用している
- インターネット機器の用途・1位は「メール」が86%！「SNS」は67%程度に
- SNSの認知率&利用率、1位は「LINE」、次いで「YouTube」「Facebook」
- 最も見る頻度が高い広告は「テレビ」！「SNS」も2人に1人が見る頻度が高いと回答

近年ではシニア世代においてもSNSが浸透しており、SNSをメインの連絡ツールとして活用している方も多くなっています。今回イオレでは、約700万人、39万以上の団体が利用するグループコミュニケーション支援サービス「らくらく連絡網」を利用して団体活動を行っている60歳以上のユーザーに向け、インターネットおよびSNS利用に関するアンケートを行いました。

利用しているインターネット機器はなんですか。 （複数回答可）

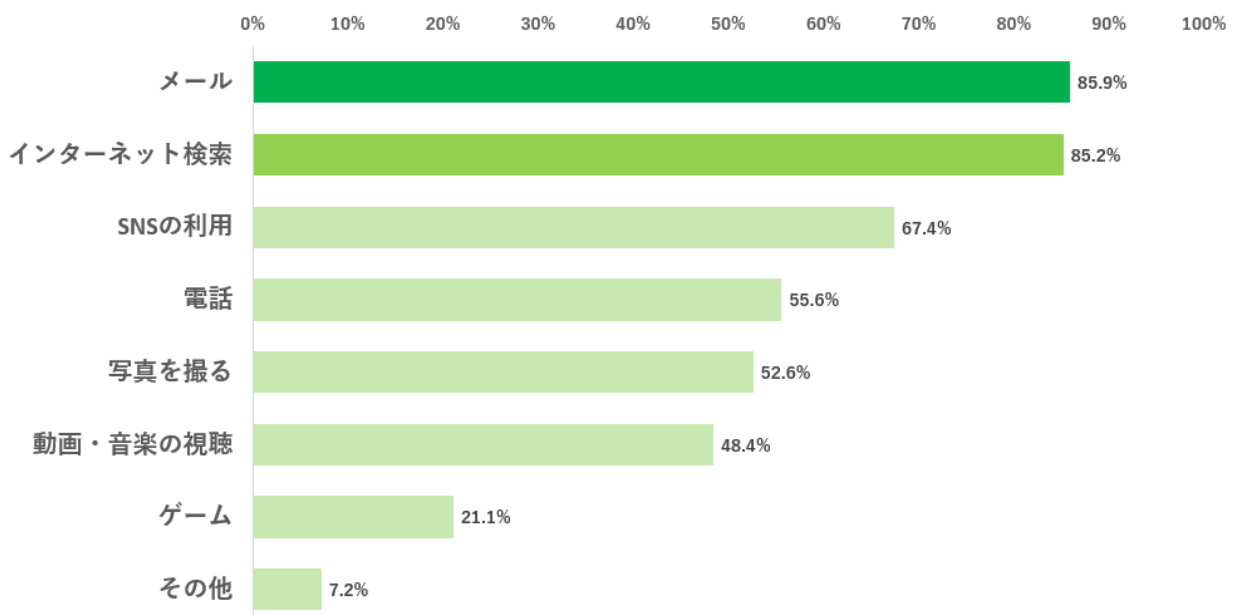


1日に何時間スマートフォンなどのインターネット機器を使っていますか。



利用しているインターネット機器についてお聞きしたところ、スマートフォンを 91.2%、パソコンを 77.5%が利用しており、タブレットも約 3 割が利用しているという結果がでました。さらに、インターネット機器の使用にどのくらいの時間を費やしているか、という質問では、「1 時間以上 3 時間未満」の回答が最も多く、約半数程度を占めました。

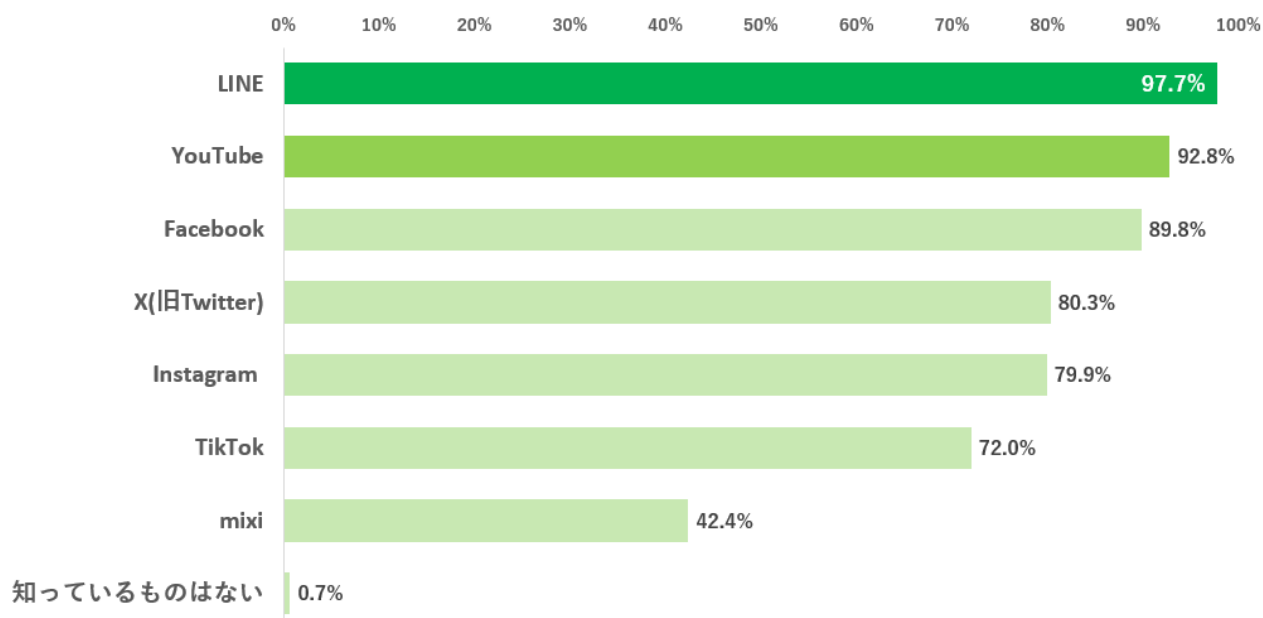
どのような用途でインターネット機器を利用していますか。（複数回答可）



また、どのような用途でこれらの機器を使っているかに対しては、「メール」が最も高く 85.9%、次いで「インターネット検索」が 85.2%、「SNS の利用」が 67.4%でした。

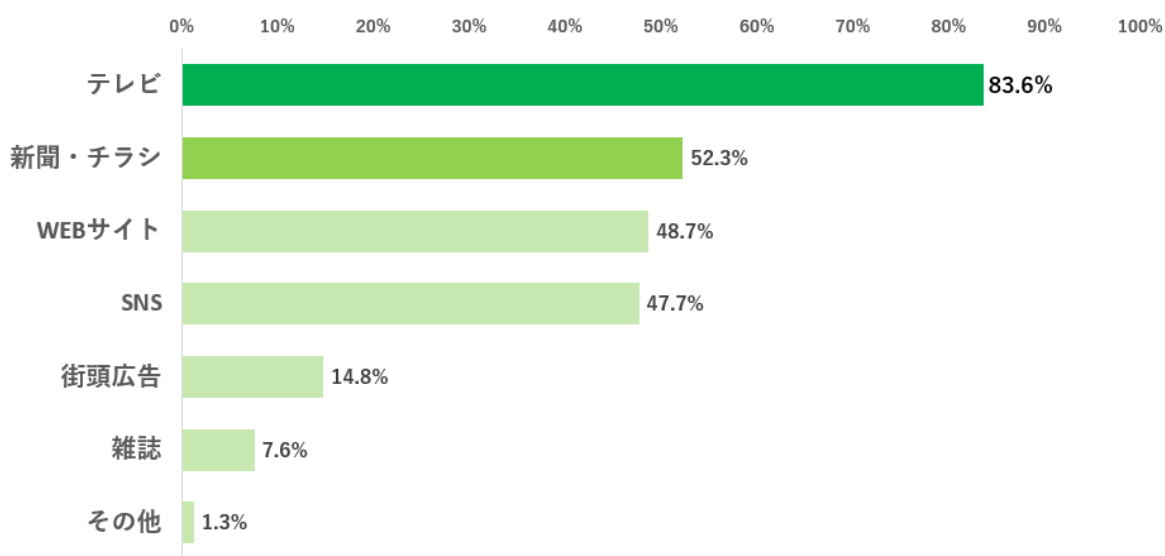
シニア層もスマートフォンや PC の利用が定着化していることが伺えますが、SNS よりもメールを中心にコミュニケーションを取ることが多いようです。

名前を知っているSNSを選んでください。(複数回答可)



「名前を知っている SNS」については LINE が最も高く 97.7%と、ほとんどの方がサービスを認知していると回答しました。その他の SNS についても多くの方が「名前を知っている」と回答したことから、これらの代表的な SNS は利用の有無に関わらず、シニア層においても認知度が非常に高いことがわかりました。

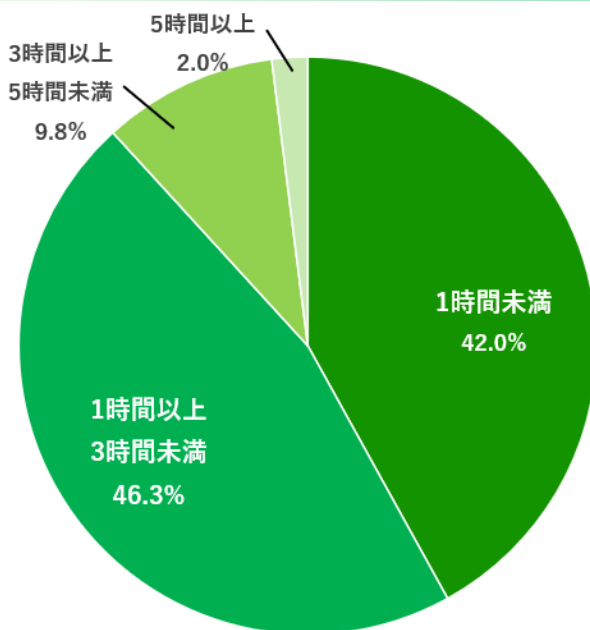
広告を見る頻度が高いと感じる媒体を教えてください。(上位3つまで選択可)



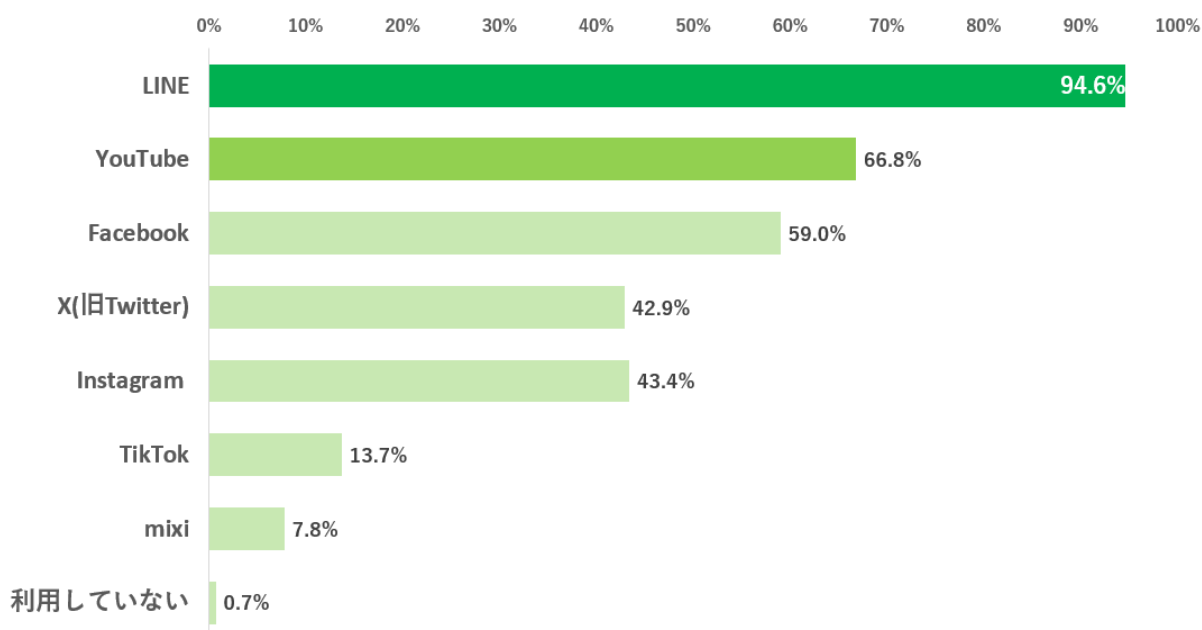
「広告を見る頻度が高いと感じる媒体」についての回答では、1位は83.6%と「テレビ」となりました。60歳以上の世代においてはテレビCMの影響が大きいことが伺えますが、SNS広告も47.7%と、およそ2人に1人が「広告を見る頻度が高い」と感じていることがわかります。

さらに、インターネット機器の用途として「SNSを利用している」と回答した205人に、さらにSNSに関するアンケートを実施しました。

1日に何時間SNSを使っていますか。



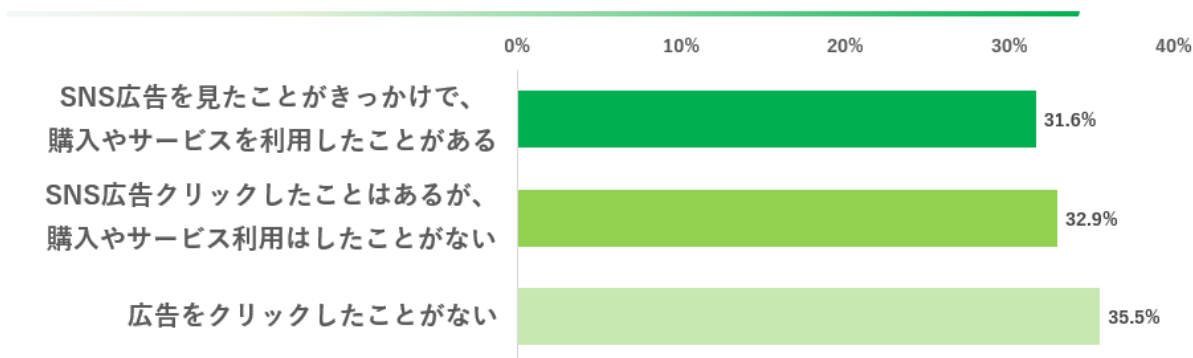
利用しているSNSを選んでください。(複数回答可)



SNSの1日の利用時間は「1時間未満」と回答した方が42.0%と、あまり長くない方が多いことが伺えます。また利用しているSNSとして「LINE」を94.6%が利用していると答えたことから、SNSを利用するシニア層のほとんどの方がコミュニケーションツールとしてLINEを活用していることが伺えました。次いで「YouTube」は66.8%、「Facebook」は59.0%と、これらも過半数のシニア層が利用している結果となりました。

各SNSの利用頻度についても調査したところ、上記のSNSの中で利用頻度が最も高いのも「LINE」で、79.5%が「ほぼ毎日利用している」と回答しており、生活に根差したSNSとなっていることが伺えます。

SNS上の広告を見て商品を購入またはサービスを利用したことはありますか。



さらに「SNSの広告を見て商品の購入やサービスを利用したことがあるか」という質問では、31.6%が購入したことがあると回答。シニア層に向けたマーケティングにおいてもSNS広告は有効に働いていることがわかりました。

上記のアンケート結果の他、「各SNSの利用頻度」「2023年でお金を多く使ったカテゴリ」など、シニアマーケティングに活用できるアンケートを行っております。より詳細なアンケート結果をご希望のメディア様・マーケターの方はイオレ広報担当 (press@eole.co.jp) までお問合せください。

調査概要

調査対象：60歳以上の「らくらく連絡網」の利用者

調査期間：2023年12月26日～2024年1月11日

調査方法：インターネット調査

有効回答数：306件

※本調査結果の構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはなりません。

■「らくらく連絡網」とは

「らくらく連絡網」は団体活動を行う 約 700 万人・39 万団体（2023 年 9 月 30 日時点）のユーザーが利用する日本最大級の無料メールリングリストサービスです。「一斉連絡」「日程調整」「出欠確認」など団体活動における様々な連絡を効率化するインフラツールとして多くの団体にご愛用頂いております。

PTA や町内会といった地域に根差したものから、スポーツ系から文化系まで様々な趣味活動といった幅広い団体活動にご利用いただき、ユーザーのおよそ 70 万人が 50 歳以上のユーザーであるため、シニア層・ミドルシニア層をターゲットにした広告マーケティングが可能です。アンケートの中で商品理解を促すプロモテッドアンケートや、ターゲティングメールによって企業の PR を支援します。ご興味のある方は下記よりお問合せください。

URL : <https://www.eole.co.jp/contact/business/>

会社名	株式会社イオレ
本社所在地	〒103-0003 東京都中央区日本橋横山町6-16 RONDO日本橋ビル4F
代表者	代表取締役社長 冨塚 優
設立	2001年4月25日
資本金	9億1533万円 ※2023年9月30日現在
従業員数	111名 ※2023年9月30日現在
上場市場	東京証券取引所グロース市場（証券コード：2334）
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・ PC・スマートフォン向け各種サービスの運営（「らくらく連絡網」「らくらく連絡網+」「らくらくアルバイト」）・ アドテクノロジー商品「pinpoint」の開発・提供・ 運用型求人広告プラットフォーム「HR Ads Platform」の開発・提供・ インターネット広告事業・ セールスプロモーション事業・ Web3 事業（NFT 販売代理、ギルド運営）・ ペット総合情報サービスの提供（「休日いぬ部」「Perrole」）・ 旅行事業
URL	https://www.eole.co.jp/

本件に関するお問合せ
株式会社イオレ Tel:050-1802-7135 Mail:press@eole.co.jp

他社登録商標・商標等、記載されている会社名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。